

平成30年度

## 出前講座の利用案内

県教育センターの指導主事を派遣し、研修講座で用いる資料を活用して、県内の学校や教育研究団体等での研修に対する支援を行います。



長崎県教育センター

# 「出前講座」実施要項

## 1 目 的

長崎県教育センターによる出前講座（以下「出前講座」という。）は、県内の各市町教育委員会及び各県立学校、教育研究団体等との連携・協力のもと、教育センターの人的資源や研修講座等にかかる実績を活用して、市町教育委員会の研修、公立学校の校内研修及び教育研究団体等の活動への個別的・具体的支援を行う。

## 2 対 象

市町教育委員会、公立幼稚園及び公立幼保連携型認定こども園、公立小・中学校、公立高等学校（県立中学校を含む）、公立特別支援学校、教育研究団体等（以下「市町、学校等」という。）

## 3 方 法

「出前講座」を希望する市町、学校等に教育センター職員が出向き、講座を開設する。

## 4 内 容

「出前講座の利用案内（出前講座一覧）」参照

## 5 費用の負担

- (1) 教育センター職員の派遣にかかる費用は、教育センター負担とする。
- (2) 会場借り上げ等の費用は依頼元負担、受講者に旅費が生じる場合については学校配当予算等による執行とする。

## 6 実施要件

- (1) 教職員を対象とすること。
  - (2) おおむね10名以上の参加者があること。（近隣校などへの積極的な呼びかけ）
  - (3) 講座全体で90分以上であることを原則とする（「研修報告・振り返り」を記入する時間（15分程度）を含む）。実施時間の目安については出前講座の利用案内参照のこと。
  - (4) 「講義」「研究協議」「演習」などから、二つ以上の柱立てを設けることを原則とする。
  - (5) 実施期間は原則として6月25日から1月31日までの平日とする。
  - (6) 時間帯は午前9時から午後5時までの間とする。
- ※(1)～(5)の実施要件を満たさない場合には、別途「研究援助」で対応を検討する。

## 7 留意事項

- (1) 同一学校等での実施は年1回を原則とする。ただし、複数回実施をすることで研修効果の高まりが期待できる講座については複数回支援コースを設ける（複数回支援の有無については出前講座の利用案内参照のこと）。  
なお、同一市町における実施回数は調整をお願いすることもある。
- (2) 同一の内容で毎年度依頼がある学校等には、実施内容の見直しをお願いする場合がある。
- (3) 学校単位で実施する際は、近隣校からの受講者の参加についても可能な限り考慮する。更に広く参加者を募ることが望ましいと考えられる場合は、市町教育委員会等と協議の上、地域等を単位とする講座としての実施を検討する。
- (4) 実施にあたり、出前講座の趣旨や研修内容の概要等に沿った充実した研修となるよう、依頼元は教職員の共通理解を図っておく（事前提出資料を求めることもある）。
- (5) 出前講座の実施による成果をさらに高めるため、関連するセンター研修講座を受講するなど、研修の継続について考慮する。

## 8 申込み

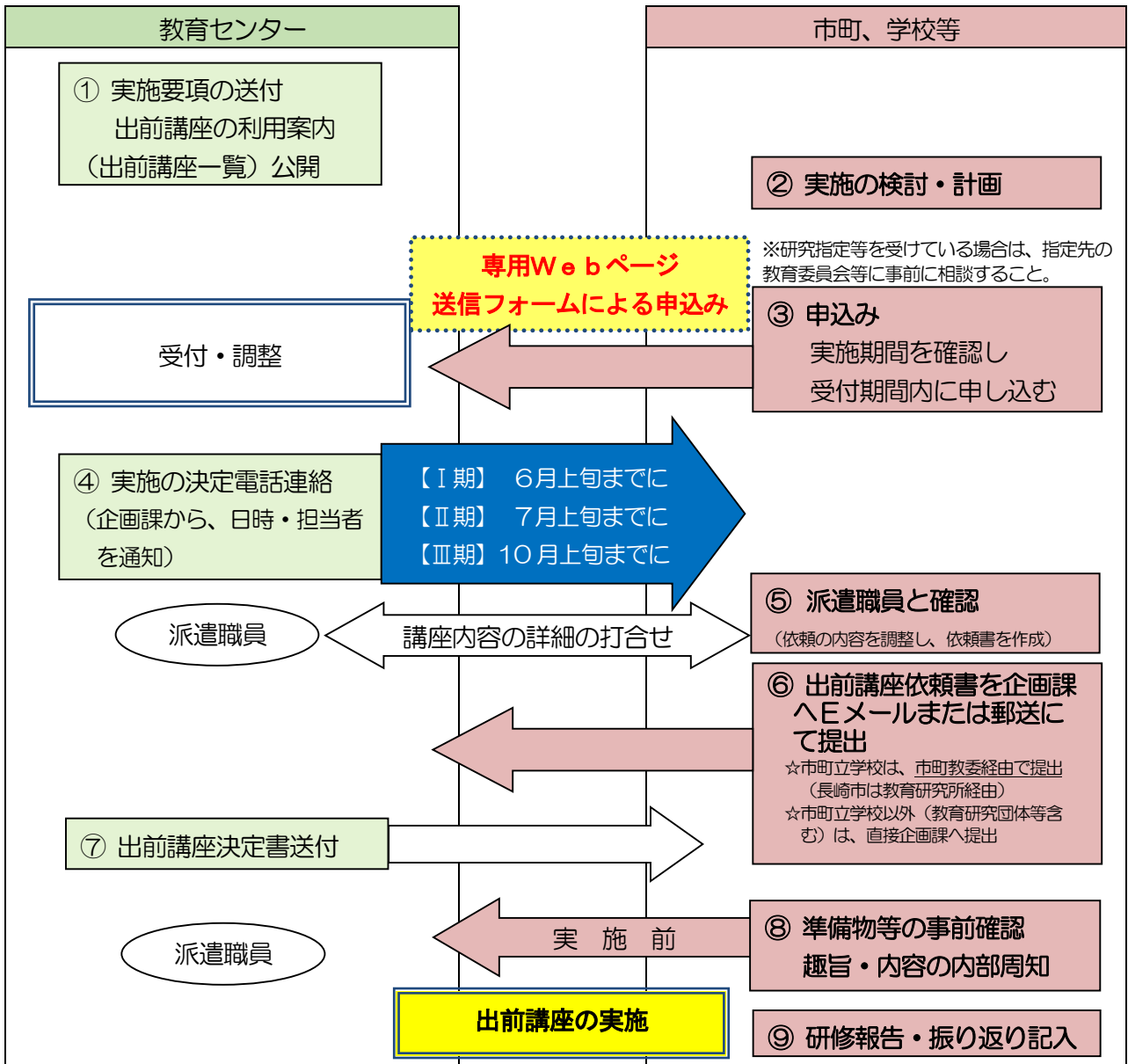
- (1) 下記の受付期間を原則とする。

	実施期間	申込み受付期間	決定までの動き
I期	6月25日～ 7月31日まで	4月16日～ 5月15日	1) 出前講座の受付・調整 2) 企画課から依頼元に決定通知 3) 依頼元と派遣職員の打合せ 4) 依頼書の提出（受理後決定書送付）
II期	8月1日～ 10月31日まで	5月16日～ 6月15日	
III期	11月1日～ 1月31日まで	8月16日～ 9月15日	

- (2) 申込み方法  
専用Webページ送信フォームにより申し込む。

## 手続きの流れ

### 【手続きの流れ】



※申込みは、必ず所属長等の了解を得て行ってください。

### (3) 問い合わせ先

企画課総合企画班 (Tel.0957-53-1186)

出前講座依頼書送付 Eメールアドレス: [S403502@pref.nagasaki.lg.jp](mailto:S403502@pref.nagasaki.lg.jp)

9 別紙様式（依頼書は、Webサイトからダウンロードできます）

※提出先：教育センター 企画課

提出方法：郵送または電子メール送信（アドレス：[S403502@pref.nagasaki.lg.jp](mailto:S403502@pref.nagasaki.lg.jp)）

**注意** 市町立学校は、市町教委経由で提出してください。（長崎市は教育研究所経由）

※県立学校の場合は、下線部分は削除してください。

文 書 番 号  
平成 年 月 日

長崎県教育センター所長 様

〇〇市(町)立〇〇学校長  
(△△市△△学校教育研究会△△科部長等)  
(公印省略)

長崎県教育センター「出前講座」依頼書

下記のとおり、長崎県教育センターによる「出前講座」を依頼します。

記

日 時	平成 年 月 日 ( ) : ~ :		
場 所		参加予定人数	名
講座の ねらい			
メニュー番号	( ) ※利用案内 p.8-18 参照		
講座の 内 容	【出前講座日程及び内容等】		
備 考			

# 【 記入例 】

文 書 番 号  
平成 年 月 日

長崎県教育センター所長 様

〇〇市（町）立〇〇学校長  
（△△市△△学校教育研究会△△科部長等）  
（公印省略）

長崎県教育センター「出前講座」依頼書

下記のとおり、長崎県教育センターによる「出前講座」を依頼します。

## 記

日 時	平成●●年●●月●●日（●）●●：●●～●●：●●		
場 所	本校図書室等	参加予定人数	●●名
講座の ねらい	※ 講座のねらいを簡潔に、御記入ください。		
メニュー番号	（ 小-22 ） ※利用案内 p.8-18 参照		
講座の 内 容	<p>【出前講座日程及び内容等】</p> <p>※電話相談・打合せに基づき、時系列に沿って御記入ください。</p> <p>【例】</p> <p>13:30 はじめに（校長あいさつ等）</p> <p>13:35 講 義 〇〇における〇〇の在り方</p> <p>14:20 演 習 〇〇から見える課題分析とその改善 （研究協議 〇〇に対応した授業改善）</p> <p>15:05 振り返り 「研修報告・振り返り」の記入</p> <p>15:20 おわりに</p>		
備 考	<p>※別記しておいた方がよい事柄の記入</p> <p>【例】 〇講座参加者は、会場校の教職員及び近隣校からの参加者△△名を含む。 〇研修報告・振り返りを集約する時間を設定することが困難であるため、後日△△課◇◇班に送付することを了承していただきたい。</p> <p style="border: 1px dashed red; padding: 5px;">研修報告・振り返りの集約が時間内にできない場合には、後日派遣職員所属班・室まで郵送してください。</p>		



# 出前講座メニュー

- ◇幼稚園・こども園対象メニュー 8ページ
- ◇小学校対象メニュー 9～11ページ
- ◇中学校対象メニュー 12～14ページ
- ◇高等学校対象メニュー 15、16ページ
- ◇特別支援学校対象メニュー 17、18ページ

## 【出前メニュー表の見方】

※所要時間については目安を示しています。詳しくはご相談ください。

番号	分野	講義	研究協議	演習	内容
		時間の目安			
小-20	複式教育	○	○	○	《複数回》子どもの自主性と学ぶ意欲を高める複式授業 ～複式学級の特性を生かした授業づくりの基礎・基本～
		90分～180分			
小-21	国語	○	○	○	《複数回》主体的・対話的で深い学びの視点からの小学校国語科授業づくり ～「言語活動の充実」を図る単元構想と授業展開について～
		90分～180分			
小-22	算数	○		○	《複数回》主体的・対話的で深い学びの視点からの算数科授業づくり ～算数科で育成する資質・能力に向かう授業改善について～
		90分～180分			

研修効果を高めるために継続的な支援が必要な場合、複数回実施することが可能な講座です。

専用Webページ送信フォームによる申込みの際に必要です。



【幼稚園・幼保連携型認定こども園】

※所要時間については目安を示しています。詳しくはご相談ください。

番号	分野	講義	研究 協議	演習	内容
		時間の目安			
幼-1	特別支援教育	○	○	○	個別の教育支援計画の作成と有効活用 ～作成のポイントと活用の仕方を中心に～
幼-2	特別支援教育	○	○	○	発達障害等特別な教育的支援を必要とする幼児児童生徒への具体的支援 ～つまずきの背景要因を踏まえた指導・支援の在り方～
幼-3	教育相談	○		○	カウンセリングの基礎 ～カウンセリングの理論及び傾聴訓練～
幼-4	教育相談	○		○	構成的グループ・エンカウンターの実論と実際 ～望ましい人間関係づくりのために～
幼-5	教育相談	○		○	ソーシャルスキル教育の理論と実際 ～望ましい人間関係づくりのために～
幼-6	教育相談	○		○	保護者との関係づくり ～基本的な関わり方及び事例研究～
幼-7	人権教育	○		○	人権教育の具体的な実践に向けて ～人権感覚を高める体験的な学習を通して～
幼-8	図画工作	○		○	主体的・対話的で深い学びの視点からの図画工作科授業づくり ～中学校美術科への系統性を意識した授業改善の工夫～

## 【小学校】

※**複数回**：研修効果を高めるため継続的な支援が必要な場合、複数回実施することが可能な講座です。

※所要時間については目安を示しています。詳しくはご相談ください。

番号	分野	講義	研究協議	演習	内容
		時間の目安			
小-1	特別支援教育	○	○	○	個別の教育支援計画の作成と有効活用 ～作成のポイントと活用の仕方を中心に～
		90分～120分			
小-2	特別支援教育	○	○	○	特別支援学級及び通級指導教室における指導について ～教育課程の編成を中心に～
		90分～120分			
小-3	特別支援教育	○	○	○	自立活動の指導の在り方 ～具体的な指導目標設定に至るまでの過程を大切に～
		90分～120分			
小-4	特別支援教育	○	○	○	発達障害等特別な教育的支援を必要とする幼児児童生徒への具体的支援 ～つまずきの背景要因を踏まえた指導・支援の在り方～
		90分～120分			
小-5	特別支援教育	○	○	○	周囲の児童生徒や保護者への理解啓発 ～学級経営や家庭・地域との連携の視点から～
		90分～120分			
小-6	教育相談	○		○	カウンセリングの基礎 ～カウンセリングの理論及び傾聴訓練～
		90分～120分			
小-7	教育相談	○		○	構成的グループ・エンカウンターの実践と理論 ～望ましい人間関係づくりのために～
		90分～120分			
小-8	教育相談	○		○	ソーシャルスキル教育の理論と実践 ～望ましい人間関係づくりのために～
		90分～120分			
小-9	教育相談	○		○	保護者との関係づくり ～基本的な関わり方及び事例研究～
		90分～120分			
小-10	生徒指導・教育相談	○		○	《複数回》不登校の予防と対応 ～基本的な関わり方及び事例研究～
		90分～120分			
小-11	生徒指導・教育相談	○		○	《複数回》いじめの予防と対応 ～基本的な関わり方及び事例研究～
		90分～120分			
小-12	生徒指導	○		○	《複数回》体罰によらない指導の在り方 ～児童生徒とのよりよい関わり方を目指して～
		90分～120分			
小-13	道徳	○	○	○	《複数回》「特別の教科 道徳」の授業づくり ～考え、議論する道徳の指導の工夫～
		90分～120分			

番号	分野	講義	研究 協議	演習	内容
		時間の目安			
小-14	生徒指導・教育相談	○		○	児童生徒のやる気を引き出すコーチング ～コーチングの具体的実践を通して～
		90分～120分			
小-15	教育の情報化	○		○	授業におけるICT機器の効果的活用 ～学校のICT機器等に応じた実技講習会～
		90分～120分			
小-16	教育の情報化	○		○	学校情報セキュリティの在り方 ～教育情報の管理・運用とセキュリティ対策～
		90分～120分			
小-17	教育の情報化	○		○	情報モラル教育の進め方 ～SNSや著作権等の理解と対応～
		90分～120分			
小-18	社会	○		○	社会科におけるICTを活用した授業づくり ～新しい学習指導要領に対応した授業改善～
		90分～120分			
小-19	プログラミング	○		○	プログラミング教育の進め方 ～プログラミング学習ソフトの体験～
		90分～120分			
小-20	複式教育	○	○	○	《複数回》子どもの自主性と学ぶ意欲を高める複式授業 ～複式学級の特性を生かした授業づくりの基礎・基本～
		90分～180分			
小-21	国語	○	○	○	《複数回》主体的・対話的で深い学びの視点からの小学校国語科授業づくり ～「言語活動の充実」を図る単元構想と授業展開について～
		90分～180分			
小-22	算数	○		○	《複数回》主体的・対話的で深い学びの視点からの算数科授業づくり ～算数科で育成する資質・能力に向かう授業改善について～
		90分～180分			
小-23	算数	○		○	《複数回》算数科授業づくりの基礎・基本 ～単元構想と授業展開について～
		90分～180分			
小-24	人権教育	○		○	人権教育の具体的な実践に向けて ～人権感覚を高める体験的な学習を通して～
		90分～120分			
小-25	授業づくり	○	○	○	小学校における授業づくりの基礎・基本 ～学習指導案をもとに授業について議論しよう！～
		90分～180分			
小-26	図画工作	○		○	主体的・対話的で深い学びの視点からの図画工作科授業づくり ～中学校美術科への系統性を意識した授業改善の工夫～
		90分～180分			
小-27	理科	○	○	○	《複数回》主体的・対話的で深い学びの視点からの小学校理科の授業づくり ～子供が見方・考え方を働かせる理科の学びとは！？～
		90分～120分			

番号	分野	講義	研究 協議	演習	内容
		時間の目安			
小-28	外国語	○	○	○	<b>《複数回》小学校外国語教育の授業づくり</b> ～新学習指導要領実施に向けて「今」やるべきこと～
		90分～180分			
小-29	アクティブ・ラーニング	○	○	○	<b>各学校における資質・能力の育成を目指して</b> ～主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善～
		90分			
小-30	音楽	○	○	○	<b>主体的・創造的な活動を目指す音楽科・芸術科（音楽）の授業の在り方</b> ～育成する資質・能力を明確にした授業の実践～
		90分～150分			
小-31	家庭	○		○	<b>生活をよりよくしようと工夫する力を育む家庭科の授業づくり</b> ～主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善～
		90分			
小-32	家庭	○		○	<b>家庭科における実習指導の基礎基本</b> ～指導のポイントをつかもう～
		90分			
小-33	キャリア教育	○	○	○	<b>初めてのキャリア教育</b> ～「キャリア教育って何？」の声に応えます！～
		90分～120分			
小-34	生徒指導	○		○	<b>長崎県児童生徒の社会性・規範意識調査（H29）について</b> ～パンフレットやシステムの効果的な活用を通して～ 長崎っ子のいま そして これからを語り合おう
		90分			

【中学校】

※**複数回**：研修効果を高めるため継続的な支援が必要な場合、複数回実施することが可能な講座です。

※所要時間については目安を示しています。詳しくはご相談ください。

番号	分野	講義	研究協議	演習	内容
		時間の目安			
中-1	特別支援教育	○	○	○	個別の教育支援計画の作成と有効活用 ～作成のポイントと活用の仕方を中心に～
		90分～120分			
中-2	特別支援教育	○	○	○	特別支援学級及び通級指導教室における指導について ～教育課程の編成を中心に～
		90分～120分			
中-3	特別支援教育	○	○	○	自立活動の指導の在り方 ～具体的な指導目標設定に至るまでの過程を大切に～
		90分～120分			
中-4	特別支援教育	○	○	○	発達障害等特別な教育的支援を必要とする幼児児童生徒への具体的支援 ～つまずきの背景要因を踏まえた指導・支援の在り方～
		90分～120分			
中-5	特別支援教育	○	○	○	周囲の児童生徒や保護者への理解啓発 ～学級経営や家庭・地域との連携の視点から～
		90分～120分			
中-6	特別支援教育	○	○	○	発達障害の傾向を示す生徒の進路指導及び関係機関との連携 ～生徒の特性に応じた進路選択を進めるために～
		90分～120分			
中-7	教育相談	○		○	カウンセリングの基礎 ～カウンセリングの理論及び傾聴訓練～
		90分～120分			
中-8	教育相談	○		○	構成的グループ・エンカウンターの実論と実際 ～望ましい人間関係づくりのために～
		90分～120分			
中-9	教育相談	○		○	ソーシャルスキル教育の実論と実際 ～望ましい人間関係づくりのために～
		90分～120分			
中-10	教育相談	○		○	保護者との関係づくり ～基本的な関わり方及び事例研究～
		90分～120分			
中-11	生徒指導・教育相談	○		○	《複数回》不登校の予防と対応 ～基本的な関わり方及び事例研究～
		90分～120分			
中-12	生徒指導・教育相談	○		○	《複数回》いじめの予防と対応 ～基本的な関わり方及び事例研究～
		90分～120分			
中-13	生徒指導	○		○	《複数回》体罰によらない指導の在り方 ～児童生徒とのよりよい関わり方を目指して～
		90分～120分			

番号	分野	講義	研究 協議	演習	内容
		時間の目安			
中-14	道徳	○	○	○	《複数回》「特別の教科 道徳」の授業づくり
		90分～120分			～考え、議論する道徳の指導の工夫～
中-15	生徒指導・教育相談	○		○	児童生徒のやる気を引き出すコーチング
		90分～120分			～コーチングの具体的実践を通して～
中-16	教育の情報化	○		○	授業におけるICT機器の効果的活用
		90分～120分			～学校のICT機器等に応じた実技講習会～
中-17	教育の情報化	○		○	学校情報セキュリティの在り方
		90分～120分			～教育情報の管理・運用とセキュリティ対策～
中-18	教育の情報化	○		○	情報モラル教育の進め方
		90分～120分			～SNSや著作権等の理解と対応～
中-19	技術・家庭（技術分野）	○		○	技術・家庭科（技術分野）におけるプログラミングの充実
		90分～120分			～新しい学習指導要領に対応した技術分野のプログラミング学習～
中-20	国語	○	○	○	《複数回》主体的・対話的で深い学びの視点からの中学校国語科授業づくり
		90分～180分			～言語活動を充実させ、学びを深める授業改善～
中-21	社会	○	○	○	公民としての資質・能力を育む社会科の授業づくり
		90分～180分			～主体的・対話的で深い学びの視点で進める授業改善～
中-22	数学	○		○	主体的・対話的で深い学びの視点からの数学科授業づくり
		90分～180分			～数学科で育成する資質・能力に向かう授業改善について～
中-23	理科	○	○	○	《複数回》主体的・対話的で深い学びの視点からの中学校理科の授業づくり
		90分～180分			～子供が見方・考え方を働かせる理科の学びとは！？～
中-24	美術	○		○	主体的・対話的で深い学びの視点からの美術科授業づくり
		90分～180分			～小学校図画工作科からの系統性を意識した授業改善の工夫～
中-25	人権教育	○		○	人権教育の具体的な実践に向けて
		90分～120分			～人権感覚を高める体験的な学習を通して～
中-26	授業づくり	○	○	○	中学校における授業づくりの基礎・基本
		90分～180分			～学習指導案をもとに授業について議論しよう！～
中-27	授業づくり・言語活動	○		○	全国学力・学習状況調査の活用Ⅰ 全教科をつなぐ結果分析
		90分～180分			～調査結果の分析から全校で改善すべき重点課題の設定までの手順～

番号	分野	講義	研究協議	演習	内容
		時間の目安			
中-28	授業づくり・言語活動	○		○	全国学力・学習状況調査の活用Ⅱ 全職員で行う授業改善 ～自校の課題を改善するための授業研究の手順～
		90分～180分			
中-29	アクティブ・ラーニング	○	○	○	各学校における資質・能力の育成を目指して ～主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善～
		90分			
中-30	音楽	○	○	○	主体的・創造的な活動を目指す音楽科・芸術科（音楽）の授業の在り方 ～育成する資質・能力を明確にした授業の実践～
		90分～150分			
中-31	家庭	○		○	生活を工夫し創造する力を育む家庭分野の授業づくり ～主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善～
		90分			
中-32	外国語	○		○	コミュニケーションを図る資質・能力を育成する外国語科の授業づくり ～複数技能の統合的な活用力を育成する指導の在り方～
		90分～180分			
中-33	キャリア教育	○	○	○	初めてのキャリア教育 ～「キャリア教育って何？」の声に応えます！～
		90分～120分			
中-34	生徒指導	○		○	長崎県児童生徒の社会性・規範意識調査（H29）について ～パンフレットやシステムの効果的な活用を通して～ 長崎っ子のいま そして これからの語り合おう
		90分			

## 【高等学校】

※**複数回**：研修効果を高めるため継続的な支援が必要な場合、複数回実施することが可能な講座です。

※所要時間については目安を示しています。詳しくはご相談ください。

番号	分野	講義	研究協議	演習	内容
		時間の目安			
高-1	特別支援教育	○	○	○	個別の教育支援計画の作成と有効活用 ～作成のポイントと活用の仕方を中心に～
		90分～120分			
高-2	特別支援教育	○	○	○	特別支援学級及び通級指導教室における指導について ～教育課程の編成を中心に～
		90分～120分			
高-3	特別支援教育	○	○	○	自立活動の指導の在り方 ～具体的な指導目標設定に至るまでの過程を大切に～
		90分～120分			
高-4	特別支援教育	○	○	○	発達障害等特別な教育的支援を必要とする幼児児童生徒への具体的支援 ～つまずきの背景要因を踏まえた指導・支援の在り方～
		90分～120分			
高-5	特別支援教育	○	○	○	周囲の児童生徒や保護者への理解啓発 ～学級経営や家庭・地域との連携の視点から～
		90分～120分			
高-6	特別支援教育	○	○	○	発達障害の傾向を示す生徒の進路指導及び関係機関との連携 ～生徒の特性に応じた進路選択を進めるために～
		90分～120分			
高-7	教育相談	○		○	カウンセリングの基礎 ～カウンセリングの理論及び傾聴訓練～
		90分～120分			
高-8	教育相談	○		○	構成的グループ・エンカウンターの実論と実際 ～望ましい人間関係づくりのために～
		90分～120分			
高-9	教育相談	○		○	ソーシャルスキル教育の実論と実際 ～望ましい人間関係づくりのために～
		90分～120分			
高-10	教育相談	○		○	保護者との関係づくり ～基本的な関わり方及び事例研究～
		90分～120分			
高-11	生徒指導・教育相談	○		○	《複数回》不登校の予防と対応 ～基本的な関わり方及び事例研究～
		90分～120分			
高-12	生徒指導・教育相談	○		○	《複数回》いじめの予防と対応 ～基本的な関わり方及び事例研究～
		90分～120分			
高-13	生徒指導	○		○	《複数回》体罰によらない指導の在り方 ～児童生徒とのよりよい関わり方を目指して～
		90分～120分			



番号	分野	講義	研究協議	演習	内容
		時間の目安			
高-14	生徒指導・教育相談	○		○	児童生徒のやる気を引き出すコーチング
		90分～120分			～コーチングの具体的実践を通して～
高-15	教育の情報化	○		○	学校情報セキュリティの在り方
		90分～120分			～教育情報の管理・運用とセキュリティ対策～
高-16	教育の情報化	○		○	情報モラル教育の進め方
		90分～120分			～SNSや著作権等の理解と対応～
高-17	教育の情報化	○		○	県立学校におけるICT機器の効果的活用
		90分			～県立学校に導入された電子黒板等の活用法～
高-18	美術	○		○	主体的・対話的で深い学びの視点からの美術科授業づくり
		90分～180分			～小学校図画工作科からの系統性を意識した授業改善の工夫～
高-19	人権教育	○		○	人権教育の具体的な実践に向けて
		90分～120分			～人権感覚を高める体験的な学習を通して～
高-20	アクティブ・ラーニング	○	○	○	《複数回》主体的・対話的で深い学びの実現に向けて
		90分～150分			～ワークショップ型演習を通して学ぶ～
高-21	音楽	○	○	○	主体的・創造的な活動を目指す音楽科・芸術科（音楽）の授業の在り方
		90分～150分			～育成する資質・能力を明確にした授業の実践～
高-22	キャリア教育	○	○	○	初めてのキャリア教育
		90分～120分			～「キャリア教育って何？」の声に応えます！～
高-23	生徒指導	○		○	長崎県児童生徒の社会性・規範意識調査（H29）について
		90分			～パンフレットやシステムの効果的な活用を通して～ 長崎っ子のいま そして これからの語り合おう

## 【特別支援学校】

※**複数回**：研修効果を高めるため継続的な支援が必要な場合、複数回実施することが可能な講座です。

※所要時間については目安を示しています。詳しくはご相談ください。

番号	分野	講義	研究協議	演習	内容
		時間の目安			
特-1	特別支援教育	○	○	○	個別の教育支援計画の作成と有効活用 ～作成のポイントと活用の仕方を中心に～
		90分～120分			
特-2	特別支援教育	○	○	○	自立活動の指導の在り方 ～具体的な指導目標設定に至るまでの過程を大切に～
		90分～120分			
特-3	特別支援教育	○	○	○	発達障害等特別な教育的支援を必要とする幼児児童生徒への具体的支援 ～つまずきの背景要因を踏まえた指導・支援の在り方～
		90分～120分			
特-4	特別支援教育	○	○	○	《複数回》特別支援学校における「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善
		90分～120分			
特-5	特別支援教育	○	○	○	周囲の児童生徒や保護者への理解啓発 ～学級経営や家庭・地域との連携の視点から～
		90分～120分			
特-6	校内研修	○	○	○	計画的・組織的な校内研修の推進について ～校内研修活性化のポイント～
		90分～120分			
特-7	教育相談	○		○	カウンセリングの基礎 ～カウンセリングの理論及び傾聴訓練～
		90分～120分			
特-8	教育相談	○		○	構成的グループ・エンカウンターの実論と実際 ～望ましい人間関係づくりのために～
		90分～120分			
特-9	教育相談	○		○	ソーシャルスキル教育の実論と実際 ～望ましい人間関係づくりのために～
		90分～120分			
特-10	教育相談	○		○	保護者との関係づくり ～基本的な関わり方及び事例研究～
		90分～120分			
特-11	生徒指導・教育相談	○		○	《複数回》不登校の予防と対応 ～基本的な関わり方及び事例研究～
		90分～120分			
特-12	生徒指導・教育相談	○		○	《複数回》いじめの予防と対応 ～基本的な関わり方及び事例研究～
		90分～120分			
特-13	生徒指導	○		○	《複数回》体罰によらない指導の在り方 ～児童生徒とのよりよい関わり方を目指して～
		90分～120分			

番号	分野	講義	研究 協議	演習	内容
		時間の目安			
特-14	道徳	○	○	○	≪複数回≫「特別の教科 道徳」の授業づくり
		90分～120分			～考え、議論する道徳の指導の工夫～
特-15	生徒指導・教育相談	○		○	児童生徒のやる気を引き出すコーチング
		90分～120分			～コーチングの具体的実践を通して～
特-16	教育の情報化	○		○	学校情報セキュリティの在り方
		90分～120分			～教育情報の管理・運用とセキュリティ対策～
特-17	教育の情報化	○		○	情報モラル教育の進め方
		90分～120分			～SNSや著作権等の理解と対応～
特-18	教育の情報化	○		○	県立学校におけるICT機器の効果的活用
		90分			～県立学校に導入された電子黒板等の活用法～
特-19	人権教育	○		○	人権教育の具体的な実践に向けて
		90分～120分			～人権感覚を高める体験的な学習を通して～
特-20	キャリア教育	○	○	○	初めてのキャリア教育
		90分～120分			～「キャリア教育って何？」の声に応えます！～
特-21	生徒指導	○		○	長崎県児童生徒の社会性・規範意識調査（H29）について
		90分			～パンフレットやシステムの効果的な活用を通して～ 長崎っ子のいま そして これからの語り合おう

---

平成30年4月発行

編集・発行 長崎県教育センター

〒856-0834 大村市玖島一丁目 24-2

TEL 0957-53-1186 (企画課)

---